

しれとこ「科学教室」第3回

知床世界自然遺産の保護管理のために、専門家による「科学委員会」が設置されています。

しれとこ「科学教室」（全3回を予定）では、科学委員会のメンバーが、知床の現状や取組みについて紹介します。

「海と森のつながりを取り戻せ！」

～魚から見たよい川とは？ 河川工作物改良現場訪問～

北海道大学 教授 ^{なかむら}中村 ^{ふとし}太士 氏

脱ダムと防災の両立は可能か？

海と森をつなぐ川本来の姿とは？

岩尾別川河口から治山ダムの改良工事が行われた現場まで、検討から改良工事実施までの道筋を河川工作物ワーキンググループの座長として導いて来られた中村座長と共に、お魚の気持ちになってたどってみます。

～プロフィール～

北海道大学大学院農学研究院森林生態系管理学研究室教授。愛知県名古屋出身。52歳。河川工作物アドバイザー会議座長。

森林と川のつながりなど、生態系間の相互作用を土地利用も含めて流域の視点から研究している。学会及び社会的活動も幅広く、森林学、応用生態工学など応用分野のみならず、地形学、生態学といった基礎科学の分野でも活躍している。2005年日本森林学会賞、2009年生態学琵琶湖賞、2011年尾瀬賞受賞。主な著書に「流域一貫」（築地書館）、「水辺域管理－その理論・技術と実践」（古今書院）、「森林の科学－森林生態系科学入門－」（朝倉書店）、「川の環境目標を考える」（技報堂）、「川の蛇行復元」（技報堂）などがある。



「科学委員会」専門家と

自然遺産を歩こう！

日時：10/15（土）13:00～16:00（知床岩尾別ユースホテル集合）

散策場所：岩尾別川水系

○小学生以下保護者同伴 / 参加無料 / 少雨決行 / 歩きやすい服装、雨具・飲み物持参

◆事前申込が必要です（申込先：知床財団 0152-24-2114/FAX24-2115）

FAXで申込される場合は裏面の申込用紙をご利用ください！



北見支社
 〒090・8655
 北見市幸町1丁目2番17
 ▷報道 ☎0157・24・4456
 FAX 25・7980

Eメール
 kitami@hokkaido-np.co.jp
 ▷広告・販売 ☎24・4455

網走支局
 〒093・0018
 網走市南8条西2丁目
 ☎0152・44・7211
 FAX 45・0022

美幌支局
 〒092・0050
 美幌町大通北4丁目
 ☎0152・73・2018
 FAX 72・3794

遠軽支局
 〒099・0404
 遠軽町大通北2丁目
 ☎0158・42・2211
 FAX 42・5575

紋別支局
 〒094・0015
 紋別市花園町2丁目
 ☎0158・24・2100
 FAX 24・7349

オートボックスの車検
 オートボックスだから
 安心の価格 (見積り無料)
 オレンジ色の看板が目印

←オートボックス 北見三輪
 北見市中央三輪6丁目434-5
 TEL.0157-36-0733 回 AM10:00~PM7:00



改良ダムの効果学ぶ

しれとこ科学教室 イワウベツ川散策

たしている仕組みや工事の現状を説明。続いて、イワウベツ川の河口から支流の上流まで約2時間散策した。

【斜里】環境省や知床財団などは15日、知床世界自然遺産地域科学委員と現地を歩いて学ぶ「しれとこ科学教室」を町若子別で開いた。サケ科の魚が遡上できるよう改良したダムを見学、参加者20人が海と森をつなぐ川の姿を考えた。

中村教授(右から3人目)の解説を聞きながらスリットを入れた鉄製ダムを見学する参加者

斜里町や道森林管理局が切り下げやスリット(隙間)を入れる改良工事を行った治山ダム4カ所を見学。中村教授は「改良で上流へのサケの遡上量は大幅に増え、産卵生息環境がより上流まで拡大した」などと解説した。

中村太士・北見大学大学院教授が講師を務め、海と山の栄養塩の循環に川が重要な役割を果たしている。自然保護連合(IUCN)から河川環境の改善を求められた2006年以降、13基で改良工事が進められている。(大沢祥子)

技の巧みさ競う

北見で武道祭 小学生ら真剣に



気合の入った技を見せる少林寺拳法の選手たち

第16回北見市総合武道祭が15日、北見市立体育館で開かれ、空手や少林寺拳法、ちびっこ相撲など8競技の公開演武や試合が行われた。中武道振興協議会(武藤弘司会長)の主催。ちびっこ相撲には

19人の小学生が参加し、低、中、高学年で優勝を競った。小柄な選手が大きな選手の足をとって倒すと、観客からは大きな歓声が上がった。低学年の部で優勝した三輪小の中沢完太君(2年)は「普段は柔道をやっているけれど、相撲も楽しかった。来年も挑戦したい」と話した。

東日本大震災の被災地支援のため、恒例のビールパーティーに替えて「東北4県地酒フェス」も開催した。

(海老原知世)

高校生の手作り笑顔で売り込む

北見商業高校流通経済科の3年生37人が15日、東武イーストモール端野店で販売実習会を開き、生徒手作りのアイスクリームや道内商業高が製造した地場産品を使ったドレッシングなどを元気に売り込んだ。

仕入れから販売、在庫管理、会計処理など、商品が消費者の手に届くまでを自ら行い、学校で学んだ成果をいかす集大成の行事。

生徒たちは買い物客に「おいしいですよ」などと笑顔で語りかけ、積極的に販売。パニアアイスは午前中に完売する盛況ぶりです。

まとめ役の鈴木麻梨奈さんは「それぞれ商品説明を覚えるのが大変だったけれど、お客さまに品物の良さを伝えることで、たくさん買ってもらえてうれし」と満足そうだった。

「カメの形をした「カメパン」がおすすです」などと笑顔で接客する生徒たち



「カメの形をした「カメパン」がおすすです」などと笑顔で接客する生徒たち

赤波
 約400人が参加。
 (2012~14年度)